

トヨセフティ IR

No.1170-G ^{じかかぶり} 直被型防災面
しゃ光度#3(標準)

No.1170-GB ^{じかかぶり} 直被型溶接用防災面(Wレンズ)
しゃ光度#3(標準),カバーレンズしゃ光度#8(標準)

No.1175-G ヘルメット取付型防災面
しゃ光度#3(標準)

No.1175-GB ヘルメット取付型溶接用防災面(Wレンズ)
しゃ光度#3(標準),カバーレンズしゃ光度#8(標準)

【発売元】 株式会社トヨセフティ
兵庫県三木市別所町巴21-1 三木工場公園
URL: <http://www.toyo-safety.co.jp>

消費者相談室 TEL.0794-83-0155

【製造元】 東洋物産工業株式会社

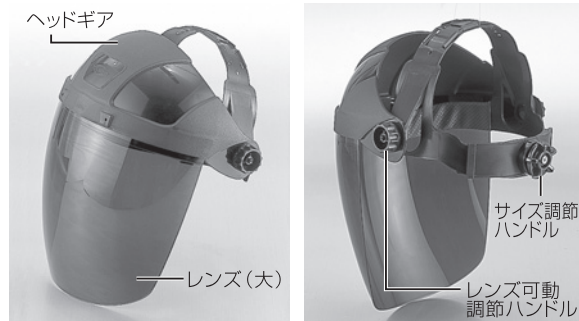
取扱説明書

- この度は当社製防災面をお買い上げ頂き、お礼申し上げます。
防災面を使用する前にこの取扱説明書を最後まで読んで頂き、充分ご理解の上使用してください。
【この説明書は読んだ後も大切に保管してください。】
- 疑問や不明な点がございましたら、上記の消費者相談室までご連絡ください。
- この説明書を紛失した場合も同室までご請求ください。

※紺色の袋は色落ちする可能性がありますのでご注意ください。

【各部名称】

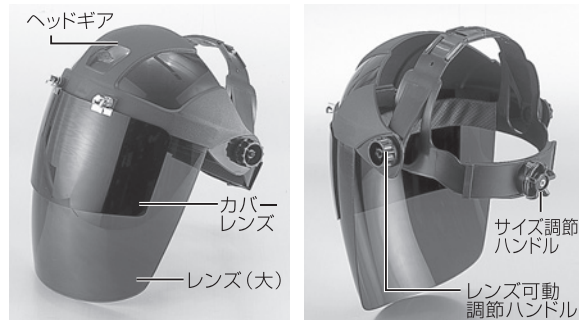
No.1170-G 直被型防災面



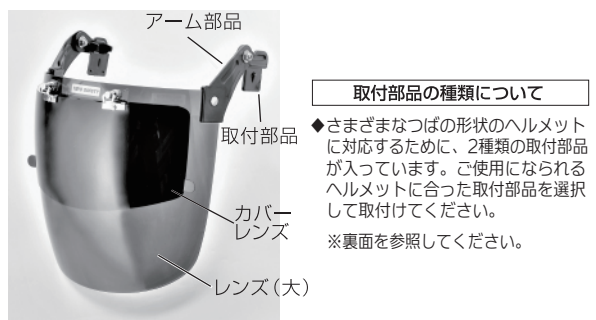
No.1175-G ヘルメット取付型防災面



No.1170-GB 直被型溶接用防災面



No.1175-GB ヘルメット取付型溶接用防災面



【特長】

- 今まで困難とされてきた大型3次曲面で、歪みが少ない遮光レンズを実現しました。
- レンズは、強化ポリカーボネート樹脂製。
- キズに強く、歪みが少ない特殊ハードコーティングレンズを使用。
- 眼鏡を掛けたままでも使用できます。

《No.1170-G, No.1170-GB》

- ヘッドギアは、頭のサイズに合わせて53cm~63cmまで簡単に調節できます。

《No.1175-G, No.1175-GB》

- 2種類の取付部品により、ほとんどのヘルメットに取付けることができます。
※当社保護帽No.160, No.160Fに取付ける場合は、取付部品を使用せずにアーム部品をそのまま差込んでください。
※一部のヘルメットは、つばの形状の違いにより取付けできない場合があります。

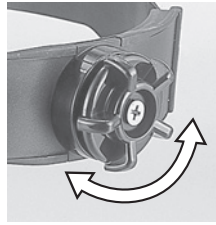
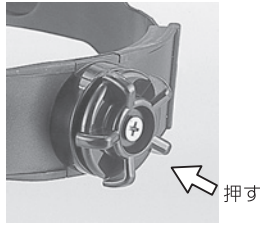
【性能】

No.1170-G	レンズ(大):しゃ光度#3(標準) ※溶接周辺作業,反射光,炉前作業用
No.1170-GB	レンズ(大):しゃ光度#3(標準),カバーレンズ:しゃ光度#8(標準) ※カバーレンズを上げた時(#3標準):溶接周辺作業,反射光,炉前作業用/カバーレンズを併用した時(#10標準):ガス溶接,電気溶接用
No.1175-G	レンズ(大):しゃ光度#3(標準) ※溶接周辺作業,反射光,炉前作業用
No.1175-GB	レンズ(大):しゃ光度#3(標準),カバーレンズ:しゃ光度#8(標準) ※カバーレンズを上げた時(#3標準):溶接周辺作業,反射光,炉前作業用/カバーレンズを併用した時(#10標準):ガス溶接,電気溶接用

【使用方法】

《No.1170-G, No.1170-GB》

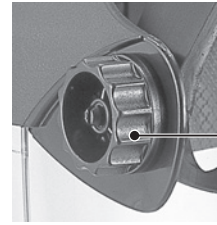
①サイズ調節



サイズ調節ハンドルを
押した状態で回転させ、
サイズを調節する。

回転

②レンズ面の可動調節

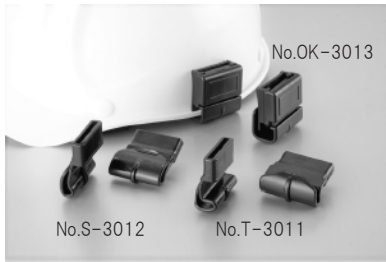


レンズ面可動部の固さは
レンズ可動調節ハンドル
で調節できます。

レンズ可動調節
ハンドル

《No.1175-G, No.1175-GB》

①ヘルメット取付部品



②ヘルメット取付部品の選び方,取付け方

- ・ヘルメットのツバの形状により取付部品を選ぶ。
- ・まず取付部品をヘルメットに取付けてください。
- ・取付部品の位置を合わせてから、本体を取付けてください。
- ※取付部品の選び方,取付け方の詳細については、取付部品に添付している「取扱説明書」を参照してください。
- ※あらゆるヘルメットに取付けできるように、3種類の取付部品が標準装備されています。
- (No.S-3012=ミノなしヘルメット用 No.T-3011=ミノ付きヘルメット用 No.OK-3013=ミノ付きヘルメット用)

◎OK-301の場合, No.1175-G, No.1175-GBの取付部品への取付け方

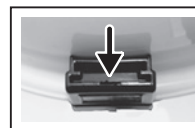


- ①ヘルメットの側面にAの長い方をヘルメットの外側に、短い方をヘルメットの内側になる様に強く押し、はめ込んでください。
- ②Bを四角い枠のある方を外側にし、出っ張りのある方を下向きにし、Aの差込部を持ち上げて四角い筒状部品の外側の差込口にしっかりと確実に差し込んでください。

- ※ヘルメットの形状によっては、押音がない場合がありますが、当社指定の防災面等を差し込むと確実に固定できます。
- ③反対側の側面も同様に取付けてください。
 - ④取り付け位置を防災面等に合わせてください。
 - ⑤防災面等を差し込んでください。

◎取付部品からの取外し方

- ①まず、防災面等を取り外してください。
- ※防災面等の差し込み部を、ヘルメットに押しつけながらずらして引き抜きます。
- ②Bを引き抜いてください。
- ③Aをヘルメットから引き抜いてください。



※固い場合は上から見て小さな四角い穴にマイナスドライバーの先を入れて少し広げながら引き抜いてください。

※ドライバーを使用する場合は、けがをしないように充分注意してください。

⚠ 注意

- ・溶接用では遮光度の使用範囲を超えた作業現場では絶対に使用しないでください。(No.1170-G, No.1175-Gは溶接用としては使用できません。散乱光又は側射光を受ける作業に使用してください。)
- ・溶接用防災面を使用中、眼に異常を感じた時は、直ちに使用を中止してください。

⚠ 警告

- ・この溶接用防災面は、溶接作業時に発する有害光線等から顔面を保護する為に使用するものですが、絶対的に安全性を保障するものではありません。使用にあたっては、最大限の注意を払い、常に安全な作業に努めてください。(No.1170-G, No.1175-Gは溶接用としては使用できません。散乱光又は側射光を受ける作業に使用してください。)
- ・直被型はヘルメット, 麦わら帽子等と併用はできません。
- ・炉前作業でも使用できますが、高温(50℃以上)になるとレンズが軟化することがあります。変形した場合は使用しないでください。
- ・スポーツ, レジャー, ゲーム, レーザー光線等の用途には絶対に使用しないでください。
- ・レンズにひび割れ, かけ, 変形等がある場合は新しい製品と交換してください。
- ・改造, 修理, 加工等は事故の原因となり大変危険です。絶対にしないでください。
- ・レンズにシンナー等の溶剤が付着した場合は、衝撃強度が低下すると考えられるので飛来物のある作業には絶対に使用しないでください。

【保管】

- ・直射日光のよくあたる場所には保管しないでください。
- ・ストーブの前, 車内等の高温になる場所には置いたり、保管しないでください。
- ・レンズの上に重いものを置かないでください。
- ・レンズ面にキズが付かないように保管してください。

【手入れ】

- ・汚れは、ぬるま湯か薄めた中性洗剤で洗い、きれいな柔らかい布で拭いて自然乾燥してください。
- ・レンズの汚れは、キズが付きやすいため、汚れた布や手袋, 鉄粉や粉じんを含んだ布等で拭かないでください。
- ・熱湯, シンナー等の溶剤では絶対に拭かないでください。
- ・使用後は必ず手入れをしてから保管してください。